

## 第3期野洲市子ども・子育て支援事業計画 策定に向けたニーズ調査について

＜令和5年度 第2回 野洲市子育て支援会議＞  
と き：令和5年10月27日（金）  
ところ：野洲市役所 本館2階 第5会議室  
野洲市健康福祉部 こども課

1

### 審議（検討）のポイント

---

- ニーズ調査対象者の範囲、選定は適切か
- 計画へ反映させるための必要な調査項目であるか
- 調査票の回収方法

2

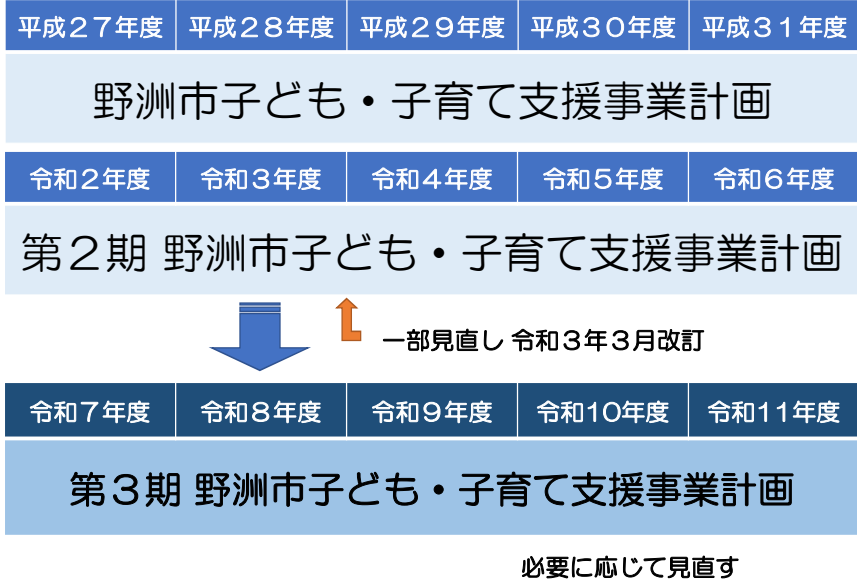
## 資料の構成

---

1. 前回会議の確認 . . . . . P4~7
2. ニーズ調査の概要 . . . . . P8~11
3. ニーズ調査の内容 . . . . . P12~19
4. 次回の検討項目 . . . . . P20~21

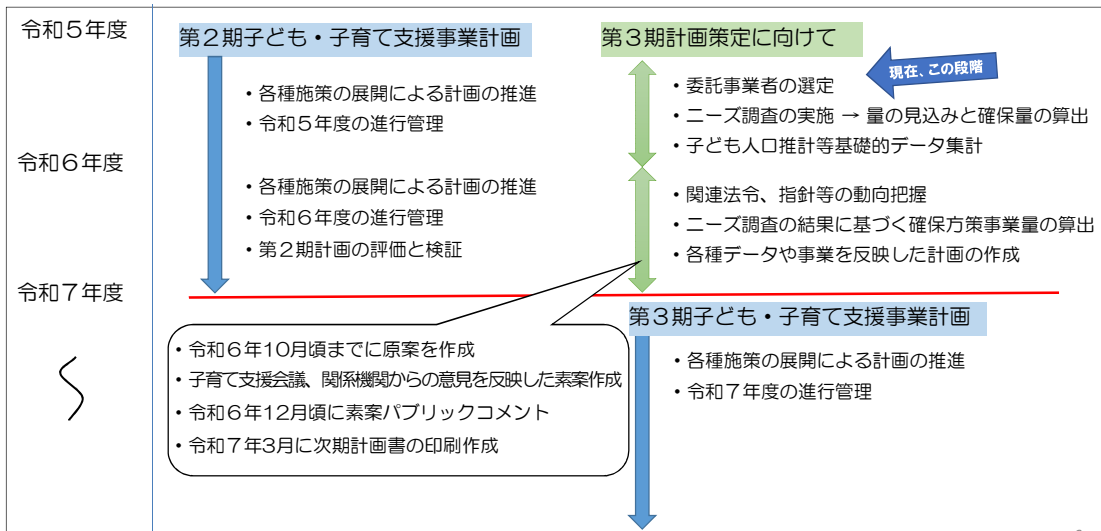
## 1. 前回会議の確認

# 1. 前回会議の確認



# 1. 前回会議の確認

## 予定スケジュール



# 1. 前回会議の確認

---

## 計画策定の作業ステップ

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| (1) ニーズ調査の実施               | 【R5年度】        |
| (2) 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の推計 | 【R5年度】        |
| (3) 子ども・子育て支援に関する情報把握      | 【R5年度】 【R6年度】 |
| (4) 現行計画の分析と課題等の整理         | 【R6年度】        |
| (5) 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の推計 | 【R6年度】        |
| (6) 関係者へのヒアリングの実施          | 【R6年度】        |
| (7) 法令改正等による対応             | 【R6年度】        |
| (8) 第3期計画の発効に向けた手続き        | 【R6年度】        |

## 2. ニーズ調査の概要

## 2. ニーズ調査の概要

### ■前回のニーズ調査（平成30年度）

現計画（以降「第2期計画」と言います。）策定時に国が示したモデル調査票と国から配布されたワークシートをベースとしながら、女性就業率の向上や多様化する子育て家庭等の現状などの社会情勢を踏まえて、市独自の設問も設けていました。また、需要を把握するために、国の幼児教育・保育の無償化などの制度の動向も加味して、設問を検討しました。

### ■今回のニーズ調査（令和5年度）

次期計画（以降「第3期計画」と言います。）策定に向けたニーズ調査は、基本的に前回のニーズ調査の内容を踏襲しながら、「市町村こども計画」に求められる視点を踏まえ、子どもの貧困や少子化対策に関する設問を追加します。また、回答者の負担軽減のため、WEBでも回答いただけるようにします。

9

## 2. ニーズ調査の概要

### ■国の動き

第1期の計画策定時に示した「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」を基本としつつ、国の「こども大綱」などに関する議論を踏まえ、『第三期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方（令和5年9月20日発出）』を提示しています。

⋮

第3期計画策定に向けてのニーズ調査では、国の動向に留意しつつ、子ども・子育てに関する多様な地域ニーズを見極めるための情報収集を図ることが求められます。

第2期計画策定時のニーズ調査

幼児教育・保育無償化の影響、子育て支援事業等のニーズ量の把握



第3期計画策定時のニーズ調査

子どもの貧困や少子化の実態把握、子育て支援事業等のニーズ量の把握

10

## 2. ニーズ調査の概要

---

### ■調査目的

令和6年度に行う第3期野洲市子ども・子育て支援事業計画の策定資料として、教育・保育へのニーズや子育て支援サービスの利用状況や意向の把握のほか、子育て世帯の生活実態や意見・要望等を収集することを目的とします。

### ■調査期間

令和5年11月下旬から令和5年12月下旬まで ※予定

### ■調査範囲

野洲市内全域

### ■調査対象

2,000世帯（野洲市在住の就学前児童の保護者1,000人、小学校児童の保護者1,000人）

## 3. ニーズ調査の内容

### 3. ニーズ調査の内容

第1期計画策定時、国が示したモデル調査票（調査票のイメージ）があり、見込み量算定のための設問がありました。先述の『第三期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方』でも前回のモデル調査票をベースとしていることから、それを基本とした調査項目・設問とする考えです。

項目	設問 ★=新規設問 ●=独自設問			目的
	就学前児童用	小学校児童用	内容	
宛名のお子さんご家族の状況	問1(1)	問1(1)	宛名のお子さんの生年月	需要量推計にあたって、家庭類型（ひとり親家庭、フルタイム×フルタイム家庭等）の把握
	問1(2)	問1(2)	宛名のお子さんを含めてお子さんは何人か	需要量推計にあたっての補足情報の把握
	問1(3)	問1(3)	末子の生年月	
	問1(4)	問1(4)	この調査票にご回答いただく方	需要量推計にあたって、家庭類型（ひとり親家庭、フルタイム×フルタイム家庭等）の把握
	問1(5)	問1(5)	保護者	
	問1(6)	問1(6)	宛名のお子さんの子育てを主に行っている方	
	問1(7)	問1(7)	お住まいの小学校区	需要量推計にあたって、教育・保育提供区域や校区別等の実態・意向の把握
保護者の就労状況	問2	問2	宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況	需要量推計にあたって、家庭類型（ひとり親家庭、フルタイム×フルタイム家庭等）の把握
	問3	問3	フルタイムへの転換希望	
	問4	問4	就労したいという希望	

13

### 3. ニーズ調査の内容

項目	設問 ★=新規設問			目的
	就学前児童用	小学校児童用	内容	
育児休業など職場の両立支援制度	問5	—	宛名のお子さんが生まれた時の、父母の育児休業の取得状況・取得していない理由	両立支援制度の利用状況、利用意向等の把握
	問6	問5	育児と仕事を両立するために必要だと思うこと	両立支援制度に対する意向把握
お子さんの平日の幼稚園、こども園、保育園などの利用状況	問7	—	宛名のお子さんの幼稚園、こども園、保育園などの定期利用の有無	就学前の教育・保育及び延長保育事業の需要量推計
	問8	—	年間を通じて平日に「定期的に」利用している施設や事業	
	問8-1	—	平日に定期的に利用している幼稚園、こども園、保育園などの利用日数・時間	
	問8-2	—	現在、利用している幼稚園、こども園、保育園などの場所	
	問8-3	—	平日に定期的に幼稚園、こども園、保育園などを利用している理由	

14

### 3. ニーズ調査の内容

項目	設問 ★=新規設問 ●=独自設問			目的
	就学前児童用	小学校児童用	内容	
お子さんの平日の幼稚園、こども園、保育園などの利用状況	問9	—	平日に定期的に幼稚園、こども園、保育園などを利用していない理由	就学前の教育・保育及び延長保育事業の需要量推計にあたっての補足情報の把握
	問10	—	平日の幼稚園、こども園、保育園などの利用について、「定期的に」利用したいと考える施設・事業	就学前の教育・保育及び延長保育事業の需要量推計
	●問11	—	施設・事業を選ぶ上で重視する条件	就学前の教育・保育及び延長保育事業の需要量推計にあたっての補足情報の把握
	問12	—	幼稚園、こども園、保育園などを利用したい場所	
	●問13	—	低年齢児の家庭保育の継続、家庭保育へ切り替える条件	就学前の教育・保育及び延長保育事業の需要量推計にあたっての補足情報の把握
	問14	—	幼稚園の恒常預かりの利用状況・希望	
	問15	—	幼稚園（幼稚園の恒常預かり保育を利用する場合を含む）の強い意向	
お子さんの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園、こども園、保育園などの「定期的」な利用希望	問16	—	宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に幼稚園、こども園、保育園などの定期的な利用希望	就学前の教育・保育の需要量推計
	問17	—	夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に預かり保育の利用希望	

15

### 3. ニーズ調査の内容

項目	設問 ★=新規設問 ●=独自設問			目的
	就学前児童用	小学校児童用	内容	
お子さんの病気の際の対応	問18	問6	この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園、こども園、保育園などが利用できなかったこと	病児保育事業の需要量推計
	問18-1	問6-1	幼稚園、こども園、保育園などが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法	
	問18-2	問6-2	お子さんの病気などで仕事を休んだときの病児・病後児保育施設等の利用希望	
お子さんの幼稚園、こども園、保育園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用	問19	問7	宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業	一時預かり事業・子育て短期支援事業の需要量推計
	問20	問8	私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望	
	問21	問9	この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと	

16



### 3. ニーズ調査の内容

項目	設問 ★=新規設問 ●=独自設問			目的
	就学前児童用	小学校児童用	内容	
放課後の過ごし方について【宛名のお子さんが来年(2019年)4月に小学校に入学する方のみ】	問22	問10	放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所	放課後児童健全育成事業(学童保育)の需要量推計
	問23ア	問11ア	宛名のお子さんについて、学童保育所【通年保育】の利用希望	
	問23イ	問11イ	お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育【季節保育】の利用希望	
お子さんの子育て環境について	問24	問12	日頃みてもらえる親族・知人の有無	日常的な子育て環境の把握
	●問25	—	妊娠・出産期の支援への希望	妊娠・出産期の支援に対する希望の把握
	問26	—	宛名のお子さんや保護者の方の子育て支援センターの利用状況	地域子育て支援拠点事業の需要量推計
	問27	—	子育て支援センターの今後の利用希望	

17

### 3. ニーズ調査の内容

項目	設問 ★=新規設問 ●=独自設問			目的
	就学前児童用	小学校児童用	内容	
お子さんの子育て環境について	●問28 ●問28-1	●問13 ●問13-1	市で取り組んでいる事業で知っている事業、利用したことのある事業、今後利用したい事業	第1期計画に位置付けのある各種事業の認知度、利用状況、利用意向の把握
	●問29	●問14	子育てに関する悩みや不安、負担等	子育てに関する課題の把握
	★●問30	★●問15	家庭の経済状況	子どもの貧困に関する課題の把握
	問31	問16	子育てに関する相談先	相談に関する状況の把握
	●問32	●問17	子育てに関する情報の入手先	情報の入手先の把握
	●問33	—	幼稚園や保育園などの施設・事業に望むこと	市の子育て環境に対する市民の意識や意向の把握
	●問34	●問18	野洲市は子育てをしやすいまちか	
	●問35	●問19	野洲市が子育てをしやすいと感じる理由	
	●問36	●問20	野洲市が子育てをしにくいと感じる理由	
	★●問37 ★●問37-1	★●問21 ★●問21-1	理想的な子どもの数、理想が実現しない理由	
●問38	●問22	野洲市の子育て支援についての意見・提案【自由記述】		

18

### 3. ニーズ調査の内容

#### ニーズ調査の実施について

調査の種類	対象	配布数	配布・回収の方法
就学前児童に関する調査	市内在住の就学前児童（0～5歳児）の保護者	1,000票	無記名方式、郵送
小学校児童に関する調査	市内在住の小学校児童（1～6年生）の保護者	1,000票	無記名方式、郵送

【参考】前回（平成30年11月）実施の調査では、住民基本台帳を抽出元とし、2,000票を対象者に郵送。

就学前児童 有効回収数**493票**（有効回収率**49.3%**）

小学校児童 有効回収数**464票**（有効回収率**46.4%**）

本市の場合、統計上必要回収率 **34.1%**  
必要回収数 **681票**

☞ 回収率を上げるために・・・広報、ホームページ等で周知を図るとともに、オンラインでの回答フォームを設置します。

19

### 4. 次回の検討項目

20

## 次回の検討項目

---

- ニーズ調査結果を踏まえた分析・推計